

長岡ホノルル青少年平和交流サミット 平和サミット宣言

私たち、長岡ホノルル青少年は、戦後70年にあたる2015年、平和交流で出会いました。

私たちは、この交流を通して、ホノルルに真珠湾攻撃が、長岡に空襲があった悲しい歴史を共に学びました。今でも、戦争の傷跡は、戦争がどんなに苦しく悲しい出来事であったか、はっきりと語りかけます。長岡とホノルルで多くの方々が犠牲となり、多くの方々が大切な人を失い、自由が奪われたことを決して忘れてはなりません。

私たちは、平和について様々な見方・考え方があることも学びました。戦争を起こさず平和を築いていくためには、お互いの違いを理解し、お互いを尊重し、戦争の真実を学ぶ努力をすること、未来を担う仲間たちに、学んだことを客観的に伝えていくことが大切であることに気づきました。そして、平和を維持するためには、様々な立場で、努力し続けることが大切であることに気づきました。

平和のために、私たちができることは何でしょうか。それは私たちの身近なことから行動を起こしていくことです。一人ひとりが、家族や仲間、周りの人たちと語り合い、平和に向けて行動すること、そして、他の人たちの命と生活を、自分たちの命と生活と同じように大切にすることです。

私たち、世界の青少年は、心を合わせ、平和のバトンを未来につないでいく努力を続けることをここに誓います。私たちは地球に生きる仲間です。どこで生まれ育ったとしても、共に手を取り合い、平和な未来をつくっていきましょう。

2015年8月15日

長岡ホノルル青少年平和交流サミット参加者一同